

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成 28 年 6 月 9 日 (2016.6.9)

【公開番号】特開 2015-152106 (P2015-152106A)

【公開日】平成 27 年 8 月 24 日 (2015.8.24)

【年通号数】公開・登録公報 2015-053

【出願番号】特願 2014-27006 (P2014-27006)

【国際特許分類】

F 1 6 C 9/02 (2006.01)

F 1 6 C 17/02 (2006.01)

F 1 6 C 33/10 (2006.01)

【F I】

F 1 6 C 9/02

F 1 6 C 17/02 Z

F 1 6 C 33/10 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 4 月 18 日 (2016.4.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

上下一対の半円筒状軸受を組み合わせて形成され、軸部材を回転可能に支持する円筒状のすべり軸受であって、

前記上下一対の半円筒状軸受のいずれもが、

当該半円筒状軸受の内周面のうち、前記軸部材の回転方向上流側及び下流側の端部にそれぞれ形成されるクラッシュリリーフと、

前記クラッシュリリーフのうち一方から他方までを連通するように、当該半円筒状軸受の内周面に形成される油溝と、

を具備することを特徴とするすべり軸受。

【請求項 2】

前記油溝は、

前記軸部材の回転方向下流側に形成された前記クラッシュリリーフと連通される端部の断面積が、他の部分の断面積よりも小さくなるように形成されることを特徴とする、

請求項 1 に記載のすべり軸受。

【請求項 3】

クランクジャーナルの外周面とクランクピンの外周面とを連通し、前記クランクジャーナルの外周面から前記クランクピンの外周面へと潤滑油を案内する連通油路を有するクランクシャフトと、

請求項 1 又は請求項 2 に記載のすべり軸受と、

を具備し、

前記すべり軸受によって前記クランクジャーナルが回転可能に支持されることを特徴とする潤滑油供給機構。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

即ち、請求項 1 においては、上下一对の半円筒状軸受を組み合わせて形成され、軸部材を回転可能に支持する円筒状のすべり軸受であって、前記上下一对の半円筒状軸受のいずれもが、当該半円筒状軸受の内周面のうち、前記軸部材の回転方向上流側及び下流側の端部にそれぞれ形成されるクラッシュリリーフと、前記クラッシュリリーフのうち一方から他方までを連通するように、当該半円筒状軸受の内周面に形成される油溝と、を具備したものである。